

岐阜県郡上市 (有) エヌシーアイ 代表取締役 岩出 真弥

令和7年度

## 【経営の概要】

- 経営面積は、約105ha。所有地：約1ha、借入地：約10ha、全受託：約40ha、作業受託：約54ha
- 従業員3名。刈取の受託は、郡上市のほか、同県多治見市、愛知県弥富市、愛西市、田原市、三重県桑名市など

## ①飼料生産の概要

- 生産面積
  - 水稲 約36ha
  - WCS用稲 約19ha
- 刈取受託 約50ha
  - WCS用稲 約20ha
  - デントコーン 約40ha
  - ソルガム 約5ha
  - デント・ソルガム 約20ha
- 飼料提供先 5戸（酪農・繁殖）
- 作業委託元
  - 岐阜県郡上市 畜産農家
  - 岐阜県多治見市 耕種法人
  - 愛知県弥富市 耕種法人
  - 愛知県愛西市、三重県の耕種農家
  - 愛知県田原市 粗飼料生産組合
  - 三重県桑名市 耕種農家

## ②飼料生産の現状と今後の展望等

- 飼料生産に取り組み始めた経緯
 

水稲専作だった当法人は、平成25年から始めた飼料米生産が収量が増えなかったことから、平成28年にコンバインベラーとラッピングマシンを導入し、WCS用稲の生産に取り組み始めた。令和元年には専用の飼料収穫機を導入。デントコーンやソルガムの取作業の受託も開始した。

三重県の稲作経営者からの作業受託をしていた際に知り合った農政局担当者より、愛知県内での作業受託について打診があり、愛知県内での収穫作業受託を開始した。
- 飼料生産の現状
 

地元では、自社のWCS用稲生産・販売のほか、WCS用稲、デントコーン、ソルガムの刈取作業の受託を、多治見市ではWCS用稲、愛知県弥富市、愛西市、三重県桑名市ではデントコーン、愛知県田原市ではデントコーン・ソルガム混播の刈取作業の受託を行っている。愛知県と三重県には、7月20日頃から約20日間、11月20日頃から約20日間、岩出社長が一人で収穫機を運んで作業を行っている。

収量は10aあたり6～10ロール。
- 今後の展望
 

近年、作業受託の依頼が増えてきており、毎年約10haずつ受託面積が拡大している。また、令和8年度からは、デントコーン（約2ha）の自社生産に取り組む予定。

## ③人材確保や機械の活用に関する取組や課題

課題となるのは収穫機械の故障への対応や日常の整備。収穫時期に、機械が故障したり詰まったりして作業が止まると、その度に修理業者を呼んで作業をストップしては効率が悪すぎるし、収穫適期を逃してしまう。岩出社長は、前職で農機メーカーの機械修理を担当していたため、作業中の異音にいち早く気づいて調整することができ、大体の故障には自ら修理することが可能である。また、作業受託期間は作業地域に滞在しており、夜間などに機械を調整したり部品の交換・修理などを行うことで効率的に作業を行っている。広域での活動は、作業時期が異なるため機械を効率的に利用でき、経営的に大きなメリットである。

④取組内容



ソルガムの刈取作業  
安全管理のため社員がガイド



WCS用稲の刈取作業



出来上がったロール



出来上がったロールをラッピングマシンでラップ



ラップしたロールを回収し、畜産農家へ配送